

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	第2分科会	開催回	第6回
開催日	平成 23 年11月18日(金) 14:00～16:00		
出席者	区民 他	委員8名 傍聴 1 名	職 員 出張所職員2名 社会福祉協議会職員1名 四谷高齢者総合相談センター職員 2名
主なテーマ	1 高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年～26年）及び健康づくり行動計画(素案)についての意見提出についての確認		
	2 健康体操について（各会場の様子等交えた意見交換）		
	3 子ども見守りチャレンジ提案事業について(振返りの意見交換)		
	4 その他		
会議内容 主な意見	<p>1 高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年～26年）及び健康づくり行動計画(素案)についての意見提出についての確認 ※別紙意見書をご参照ください。</p> <p>■意見概要</p> <p>①体操講座運営資金に関する要望 （まちづくり活動支援金以外の資金的援助の要望）</p> <p>②四谷地区以外への体操講座普及の提言</p> <p>③両計画双方に関わる意見であったので同じものを両計画に提出した。</p> <p>（委員意見交換）</p> <p>○スポーツ交流推進委員会では、総合型スポーツ・文化クラブの活動のコーディネーターとして今後は、障がい者を含めた環境作りを検討していきたい。</p> <p>○「新宿いきいき体操」推進のようなやり方ではなかなか浸透しない。体操は決まった日に決まった内容で継続していく方が、多くの人に覚えてもらえる。</p> <p>○高齢者同士での自主グループの立ち上げは依然として難しい。</p> <p>○今年度信濃町シニア館でやっているような形式を「自主的なサークル」として参加者運営するのは無理がある。講師の手配から始まり様々な負担を担うには厳しいと思う。</p> <p>○協議会の体操講座は、参加者より若い年代層が中心になって運営することが参加者ニーズに見合っている。</p>		

会議内容
主な意見

2 健康体操教室関連について

■東京都福祉局高齢社会対策部による取材申し込みの件について (別紙1原稿等参照)

事務局より

○東京高齢者保健福祉計画において協議会の健康体操教室が「地域活動の事例」として紹介されることとなった。そのことに関して取材申し込みがあった。取材日程は東京都の都合により11月21日～12月1日の平日となっている。

●協議の結果新宿地域交流館で11月24日行われる体操講座を取材していただくとした。

→担当講師にはスポーツ交流推進委員会より事前連絡をする。

→地域交流館へは事務局より連絡をする。

■健康体操教室の各会場の開催状況と意見交換

○四谷ひろば

・毎回35～40名参加

・講師の指導する運動強度が強くなってしまいがちなので、声掛けして弱めをお願いしている。民生委員さんから声掛けをしていただき増えてきた。

・男性は3名が常に継続的に参加してくださっている。

・冬季も10時開始で固定して講堂で開催する。2部制にして時間を変えると間違いが多くなる。開催時間は一定にしたい。今期の夏から2部制を1部のみに変更してみた。1年間通し継続してみて不都合がなければこの形ですすめたい。

→冬場は行動が非常に寒いので、待っている間に身体を冷やさないよう留意したい。

○新宿地域交流館

・10時には準備を開始している。

・時折、新しい方も参加している。毎回15名前後参加。
笑いが絶えない雰囲気である。

○霞ヶ丘町会集会室

・新しい方にも声掛けしている。

・今まで参加していたのに引きこもりがちになる方には継続する意義を声掛けしている。

○若葉会場

・茶話会(意見交換会)を12月14日体操終了後開催する。

※当日の茶菓子はスポーツ交流推進委員会と事務局で準備する。

※高齢者総合相談センターより2名参加希望

- ・概ね来年度も講座を継続していきたい意見が多い。現在隔週開催だが毎週、開催したい旨の意見もある。

○信濃町地域交流館

- ・参加者は毎回 5 名～10 名弱（町会行事による）
- ・参加者は増えているが、長期にわたり休む人（体調により）もいる状況。
- ・参加者の様子で運動レベルを少しずつ上げている。
- ・受付等運営をしてくださっているスポーツ交流推進委員も参加者に好評。世代の違う人との交わりは大切かと思う。
- ・参加者は平均参加者 8 名中 3 名が男性。ほのぼのした雰囲気で開催している。

○四谷中学校、花園小学校会場

- ・花園小学校は 20 名程度参加。オープンスペースで開催している。
- ・四谷中学校は工事も終了し講座を再開
→10 名くらい参加。以前より人数が増えてきた。
花園小エリアの方が四谷中へ移動して参加して下さり定着してきた。

3 子ども見守りチャレンジ提案事業について（振返りの意見交換）

※別紙 2 参加者数報告書参照

（振返り・感想等）

- ・参加者合計 1049 名（地域の小中学生の 1 割が参加して下さった）
昨年より参加者が増えた。午前・午後のイベントの相乗効果あった。
今後も地域のイベントと協力していきたい
- ・今年度のイベントを単発で終わらせないよう工夫したい。
- ・来年度のスポーツ文化フェスタの会場として四谷ひろばを 11 月 3 日に予約している。

- ・地区協議会コーナー（アニマルあいさつダーツ）では、中学生スタッフが協力してくれた。参加賞のお菓子は（200～300 ケ位）すぐになくなった。
町会行事で残った「金メダル」を活用でき、イベント的にも盛り上がった。
- ・私立小学校の児童がどの程度参加しているのか気になる。
町会の餅つき大会に参加する子どもたちの 40 パーセントは地元小学校だが 60 パーセントは地域外の子どもたちであった。高層マンションが出来ても地元の小学校に行く子供たちが少なく、地域離れを感じる。
- ・「ありがとう」とあいさつをしないとスタンプがもらえないので皆あいさつをしっかりとっていた。（テーマにあう仕掛けづくりもできた。）

- ・ 社会福祉協議会が受け持ったゲームコーナーも盛況で 250 名参加された。
- ・ 中高生ボランティアは当日のお手伝いだけでなく、事前に計画段階から一緒に参加していただけるとよいと思った。
- ・ 豚汁はなかなか煮えなく段取りが難しかった。
 - お餅、豚汁のように食べ物の配布がないと人は集まらないのか？
 - 食べ物、特にお餅は人気があり人寄せ効果は大きい。
 - 他のイベントでは花鉢（花苗）の配布に非常に人気があった。多くの来場を期待するなら、工夫も必要かとは思ふ。でも主催側に負担が大きくなるような検討が必要。
- ・ 高齢者が気軽に参加できるような仕組みを工夫したい。

○ 体力測定（11 月 3 日）は小学生 63 名、幼児 11 名、高校生以上 25 名 高齢者 12 名 計 100 名以上が参加してくださった。
 子どもの体力も落ちてきたことが気になる。
 測定スペースが奥まわっていてわかりづらかった。来年度は大人のサロンの部屋をお借りしたい。

【高齢者総合相談センター】

- ・ 四谷地域の方は集まりがいい（結団力がある）と感じた。人がたくさん集まるイベントに積極的に参加させていただき、センターの活動 PR をさせていただきたい。
- ・ センター便りを配布させていただいた。センターでは高齢で心配ごとのある方の相談を受け助言させていただくことを宣伝させていただいた。リハビリに関する相談も受けるが、元気のある方への体力作りには協議会の体操を紹介していきたい。

4 その他

① 役員会報告（役員会会議録参照）

※ 活動総括表についての意見

- ・ わかりづらい。
- ・ 5 段階評価に回答するような設問であれば答えやすかったのではないか。
- ・ 四谷の回答率は 25 パーセントであった。
- ・ 地区協議会がどうあるべきか 外殻的な ここをやりたい
- ・ 活動すべてに興味を示せないのが実情。他の団体での活動割合が大きいことや、所属する分科会活動以外には直接携わっていない。

② とうがらし懇親会のお知らせ（別紙参照）

③パブリックコメントについて

「男女共同参画推進計画」(素案)意見募集中。
詳細は11月5日号広報しんじゅく参照

(パブリックコメント全般に関する意見)

- ・幼稚園関連について何も説明がないまま実行計画案に出ている。遺憾を感じて個人的に意見書を出した。
- ・パブコメの期間が短すぎる。期間を検討していただけるよう提言したい。地区協議会の組織を理解せず(現場を知らない)に、意見の提出だけを求めているように感じる。期間は2か月欲しい。パブコメだけのために何度も(臨時に)集まることは難しい。
- ・パブリックコメントに対する提言は必要かと思う。住民の立場に立った意見書の求め方を進言してよいかと思う。

④多世代交流に関する提案

意見概要

つるまき学校サロン(鶴巻小学校会場)という多世代交流の場があると聞いた。四谷での多世代交流の場づくりを検討することを提案したい。

(意見交換)

- ・四谷では各学校に学校運営協議会の存在があり、その中でも話合われている。しかしながら今から(この時期から突然)運営協議会に関わっていくことは難しいと感じる。
- ・四谷第6小学校は「六小会」という組織が芝生の手入れをしたり、休み時間、放課後に子どもたちと遊んだりして多世代交流をしている。
- ・四谷ひろばにも「多世代交流サロン」という名前の組織がある。その運営も活動ヒントになるのではないか。
- ・つるまき学校サロンは社会福祉協議会が開いているサロンなので、運営方法等を次回の会議で社協から情報提供いただき、検討していきたい。
- ・学校の放課後の利用には、未来創造財団が子どもの居場所づくりを目的に毎日運営している「放課後子どもひろば」というがある。子どもたちが放課後、家に帰らず学校で遊び、学べる場の提供を行っている。その中でも地域住民のボランティアを募集していて、子どもと地域住民の交流を推進している。(※学童クラブとは異なる)
- ・四谷中学ではコミュニティスクールという地域住民と中学生の交流の場がある。一緒に畑を耕したりしている。

	<p>・総合型スポーツクラブにおいても、地域住民の交流の場が確保されている。今回の発案に応じられる場の確保も可能なので、具体的にどのように展開したのかご提案いただきたい。</p> <p>●「多世代交流の場」づくりを地域ですでに活動を初めている団体もある。検討している団体もある。協議会としてどのような形で関わっていくかは既存団体の活動を踏まえて慎重に検討していきたいところである。次回以降、情報を集めながら検討していきたい。来春に何かしらの目途が立つように意見を出し合っていきたいと思う。</p> <hr/> <p>会議終了後 傍聴者自己紹介 コミュニティガバナンスを研究している組織に属する。 今後も協議会活動（会議等）を傍聴させていただきたい。 また、健康体操に関することに興味があるので、各会場の様子も拝見させていただきたい。</p>
<p>次回日程 会議内容</p>	<p>平成23年12月6日(火) 16:00～17:00 四谷特別出張所会議室</p> <p>終了後 別途案内懇親会(希望者)</p>